



第 33 号 (昭和 37 年 8 月)

目 次

関係法令	.....	1
人事異動	.....	1
学内通知	.....	1
共済組合診療所の開設	.....	1
総合情報	.....	1
大井, 金岡両教官の渡米	.....	1
事務職員研修会	.....	2
奥黒部, 有峰を中心とする地域の		
学術総合調査	.....	2
レクリエーション	.....	3
第12回文部省共済組合北陸東海地区体育大会	...	3
全国公務員レクリエーション共同事業	.....	3
日 誌	.....	3
職員住所	.....	4

関 係 法 令

府 令

第 43 号 国家公務員に対する寒冷地手当, 石炭手当及び薪炭手当支給規程の一部を改正する総理府令 37. 8.25官報

省 令

大蔵・文部・厚生・農林 第 1 号  
運輸・郵政・自治  
通算年金通則法の規定による通算対象期間の確認に関する省令 37. 8.10官報

規 則

- 人事院 9—31 隔遠地手当の一部を改正する省令 37. 8.25 ♪
- ♪ 2—5 人事記録の一部を改正する規則 37. 8.31 ♪
- ♪ 8—12 職員の任免の一部を改正する規則 37. 8.31 ♪
- ♪ 10—2 勤務評定の一部を改正する規則 37. 8.31 ♪
- ♪ 16—0 職員の災害補償の一部を改正する規則

37. 8.31 ♪

告 示

文部第 132 号 大学の設置認可申請等の手続に関する細則を定める件 37. 8.15官報

人 事 異 動

現官職	氏 名	異 動 内 容	発 令 日 年 月 日	発令庁
講 師 (文理学部)	松沢 芳郎	信州大学に 出向を命ず る	27. 8. 1	富山大学
	高島 睦子	事 務 員 (工学部) に採用する	37. 8.16	♪

学 内 通 知

共済組合診療所の開設

このたび共済組合の診療所が次のとおり開設され, 組合員の利用に便することとなつた。

1. 名 称  
    文部省共済組合富山大学支部診療所
2. 場 所  
    富山市五福 3.190 番地 文理学部保健室
3. 診 療 科 目  
    内 科
4. 診 療 日 時  
    毎週火曜日, 木曜日の午後 1 時 30 分より午後 4 時 30 分まで。ただし, 休日は除く。
5. 診 療 医  
    日本赤十字富山病院  
        種 井 医 師  
        西 野 医 師
6. 診療対象者  
    文部省共済組合員及びその被扶養者
7. そ の 他  
    初診料はいらない。  
    診察の際は, 組合員証を提示すること。

総 合 情 報

大井, 金岡両教官の渡米

工学部大井信一助教授は, 8月30日から向う一カ年渡米ミネソタ州ミネアポリス市のミネソタ大学に滞留, 同大学

スタンレイ、ブラツケンシュタイン助教授の許に「非水溶媒中の平衡を取り扱う分析化学的研究」を行なう。

また、薬学部金岡又雄助手も渡米する。期間は、8月31日から向う一カ年で、滞留先はケンタッキー州のルイスビル市にあるルイスビル大学であり、同大学のケビン、ライポツトス助教授の許に「インドール系アルカロイドの合成」について研究する筈である。

## 事務職員研修会

事務職員の事務能率増進のため比較的事務閑散な時期をねらつて、就任日浅く、経験の浅い事務職員を選んでの研修会が、次のとおり行なわれた。

研修の名称 富山大学事務職員研修会

研修の目的 新入職員に本学の組織、機構及び職務の内容等の基礎知識を与え、もつて勤務能率の増進を図る。

研修の時期

8月27日から8月30日まで

研修場所 氷見市中波 浄光寺

研修を受ける職員の範囲

昭和37年1月以降の定員内事務員

研修科目と講師と日割

28日(火)	大学行政と事務職員のあり方	(事務局長)
〃	厚生課関係事務について	(厚生課長)
〃	大学関係法規及び学内規程	(庶務課長)
〃	国家公務員法について	(庶務課長補佐)
29日(木)	会計法規	(会計課長)
〃	会計実務	(会計課長補佐)
〃	公文書の取扱いと書き方	(文書係長)
30日(水)	学生課関係事務	(学生課長)

## 奥黒部有峰を中心とする地域

### の学術総合調査

本学の小笠原教授が中心となつて、立山、黒部有峰地域の総合開発のための調査が計画され、各界の協力を得て、ことしから3年にわたつて実施されることになった。いま発表されたその主旨と計画を見ると次のとおりである。

趣 旨

北アルプスの立山、黒部、有峰地域の総合開発は、わが国産業経済の発展ならびに観光資源の確保からみて国家的事業として認識されるべきものであるが、その開発作業は

常に自然の保護を顧慮した総合設計の上に立つべきでありあくまで科学的な基礎調査の上に行なわれなければならない。

北アルプスの北部地域は学術上、未だ十分に解明されてはいない。特に雲の平を中心とする奥黒部一帯は、北アルプスの奥の浣とも称せられるところで、本格的な総合研究の立場からみればほとんど全く空白の地域である。

本調査は、昭和37年度から3か年計画で同地域を調査し地形地質、水文気象、森林植生、鳥獣昆虫生態、応用陸水等の総合研究を実施するものである。これによつて、本州背梁山地の重要部分に関する学術的文献を提供すると共に(1)、黒部第4ダム、有峰ダム(源泉山地の治山と洪水調節)の2点を軸心とする黒部、常願寺両水系の防災と水資源の涵養に資し、(2)世界的な価値をもつ山岳観光地帯の自然保護ならびに整備等に寄与することを目的としている。

計 画

(1) 本調査は概ね次の日程表による

#### A. 奥黒部方面

昭和37年度調査(雲の平周辺)

第1次 8月中旬

第2次 10月中旬

昭和38年度調査(赤牛一水晶一野口五郎一鷺羽周辺)

第1次 5月下旬—6月上旬 10日間

(積雪上よりする地形調査と黒部源流の崩潰地調査)

第2次 8月中旬 10日間

註) 有峰ダムの水文気象(降水量とダム流入量)解析を終る

昭和39年度調査(三俣蓮華—黒部五郎—北ノ俣—太郎周辺)

第1次 8月中旬 10日間

第2次 10月中旬 10日間

#### B. 有峰方面

昭和37年より3か年間、毎年5月より6か月間毎月期間を定めて実施

これが実行協力機関は、本学を始め、富山営林署、富山地方气象台、通産省、地質調査所名古屋支所などである。

調査団の構成は、地形、地質、地下資源、気象、森林植生、鳥獣昆虫生態、応用陸水の各班に分れ、このメンバーは本学小笠原、植木、深井、堀の各教官はもとより、日本大学と東北、北海道、京都、大分、奈良女子の各国立大学教授、講師の精鋭に、通産省、林野庁、气象台、国立博物館の権威者を網羅するの大世帯である。

## レクリエーション

## 第12回文部省共済組合 北陸東海地区体育大会

この大会は、本学と富山商船高校とがことし当番機関となつて、本学を中心として行なわれた。

8月9日はときにわか雨に見舞われたが、大体よく晴れ、然かも西風が吹いてさほど暑さを感じぬよいコンディションであつた。また、翌日は、一日中快晴であつた。

8時過ぎ開会が宣せられ、北村商船高校長の大臣祝辞の代読に始まり、横田学長のあいさつ、選手宣誓など、かたのごとくあつて式を閉じたが、式場には、遠来の、松坂名古屋大学長、村野鳥羽商船高校長や石橋金沢大学長も出席した。なお、式の前後に富山商業高校のプラスバンドが協力演奏をして、大会の気分を盛り上げた。

会場は、本学のコート、グラウンド、黒田講堂のほか、県営軟式野球場、北陸銀行野球場、県営庭球場などが使用されたが、これ等一群の会場が近いところにかたまり、それぞれ完全な施工のものだけに、会場に関する限り、理想的なものであつたと思われる。殊に、この大会を目標に工を急いで出来上つた、バレーコートは、本学の自慢にしているものであつた。

戦は、9、10の2日間行なわれたが、戦績は次のとおりであり、本学はソフトボールに優勝した。

卓球では終始、息づまる熱戦を展開して、名工大に惜くも敗れ準優勝となつた。

総合成績は次のとおりであつた。

	優賞	準優勝	決勝戦スコア
野球	名大	岐大	10—4
庭球	三重大	福大	3—2
排球	名大	名工大	2—1
卓球	名工大	富大	4—1
ソフトボール	富大	岐大	5—4

## 全国公務員レクリエーション 共同事業ソフトボール大会

本年度共同事業計画の最初の催しであるソフトボール大会は、8月29、30の両日、南部中学のグラウンドで行なわれた。参加チームは、15機関21チームであつて、本学からはA、Bの2チームが出場した。このうち、Aチームは裁判所Aチームとの1回戦で12対4で敗れ、また、Bチームは、通産省を9対2で敗つたが、郵便局Bチームと戦つて13対12で惜敗した。なお優勝、準優勝も郵便局の占めるところとなつた。

## 日誌

## 本 部

- 8月7日 共済組合運営委員会
- 8日 名古屋大学長来学
- 9日 金沢大学長来学  
共済組合北陸東海地区体育大会
- 10日 //
- 21日 岡山大学長来学
- 25日 大井工学部助教授渡米のため出発
- 27日 職員研修会（氷見市中波30日まで）
- 28日 学部長懇談会  
金岡薬学部助手渡米のため出発
- 29日 高瀬文理学部長渡印壮行会
- 31日 評議会

## 文 理 学 部

- 8月4日 共済組合体育大会、宿舎、競技、野球の各班長会議（2番教室）
- 17日 人事教授会
- 22 学部長東南アジア出張壮行会
- 24 新採用事務職員研修説明会

## 教 育 学 部

- 7月29日 北海道研修旅行
- 8月5日 7日 県教育委員会と就職懇談会
- 20日 学部予算委員会
- 25日 学部第1回レクリエーション
- 26日 (平湯及び乗鞍)
- 29日 職業補導委員会
- 31日 学部予算委員会

## 経 済 学 部

- 8月7日 職業補導委員会
- 21日 //
- 28日 15周授業開始  
職業補導委員会
- 30日 教務委員会、教授会（第9回）

## 薬 学 部

- 8月13日 人事教授会

- 21日 第10回西日本準硬式野球大会  
(24日まで於奈良市, 北信越代表として参加)
- 24日 岡山大学長 服部静夫氏来学
- 27日 教授会
- 30日 3年次学生追再試験(9月4日まで)

工 学 部

- 8月14日 北陸財務局富山財務部新田部長来部
- 25日 大井助教授渡米のため出発
- 30日 教授会

職 員 住 所

**新任者**

工 学 部

事務員 高 島 睦 子

**変 更**

学 生 部

事務官 山 本 昭 子

経 済 学 部

助 手 妙 見 孟

工 学 部

事務員 成 瀬 久美子

発行 昭和37年11月1日

印刷 昭和印刷株式会社